

「恋人の聖地」広域市町村連携による関係人口拡大に向けたバーチャルコンパクトシティ事業 評価調書

評価方法

各事業ごとに5段階(見直し不要:5 ~ 見直しが必要:1)で評価しております。

番号	■事業名	事業の概要	R4事業実績	事業の効果についての意見等	委員評価結果								
					A	B	C	D	E	F	G	平均	
1	北海道移住・交流フェア2022出展事業	移住・定住・関係人口創出拡大に寄与するため、一般社団法人北海道移住交流促進協議会が主催する北海道移住・交流フェア2022に出展し、PR活動を実施した。	北海道移住・交流フェア2022東京会場 日時 令和4年11月6日(日) 場所 東京交通会館 12階 出展者数 87 団体 (63 市町村、24 企業・団体) 来場者数 417 組 579 人 七飯町ブース来場者数 31組48人	・移住相談件数の向上は担当職員のホスピタリティ等も定性的要因の一つと考える。 ・PR動画については、もう少し効果的な話を聞ける方もいるように思う。次回ある場合、七飯町で把握していない移住者にも話を聞けるよう情報収集を行うべきと考える。	4	-	5	5	5	5	5	5	4.8
2	移住・定住・関係人口創出拡大PR事業	移住・定住・関係人口創出拡大に寄与するため、パンフレット及びチラシを作成し、また、移住関連情報誌に七飯町のPR記事を掲載した。	パンフレット及びチラシの作成並びに移住関連情報誌へのPR記事を掲載したことにより、移住相談件数が前年度よりも増加した。 問い合わせ件数:61件(電話メール等:26件、フェア:31件、お試し移住体験事業:4件) ※前年度の移住相談件数は、21件	・あくまでも「住みやすい、住み良い町づくり」がベースであり、町民の意識の向上と結びつきながら、「他の市町村より七飯」が強まっていくと考えられる。 ・町民の郷土愛育成も必要か？	4	-	5	4	5	4	5	5	4.5
3	移住定住等PR動画作成事業	移住・定住・関係人口創出拡大に寄与するため、七飯町の魅力や優位性をPRする映像コンテンツを作成した。	移住者へのインタビューに町民生活の様子、町内行事、街並み及び風景を含めたソフトインタビュー形式のPR動画のほか3本のショートバージョンを作成した。 移住者インタビュー3名 渡邊健一さん(漫画家、R04/11月に移住) 村田壮一朗さん(七飯町職員、H29/3月に移住) 鍋谷雪子さん((株)Nabeya専務取締役、H11/3月に移住)		4	-	4	3	5	5	5	5	4.3
4	バーチャルコンパクトシティ共同基盤事業	参画する14市町村が共同で仮想シティである「恋人の聖地CITY」(バーチャルシティ/ポータルサイト)を開設し、全14市町村の関連事業コンテンツ(観光、国際交流、農林水産、商工、定住促進、子育て、その他事業)の1ヶ所への集約により情報の付加価値を高め、移住・定住・関係人口創出拡大のほか来町機会の創出、参画市町村の関係深化を図った。	参画する14市町村が共同で設定したバーチャルコンパクトシティ共同基盤事業におけるKPI及び達成率 KPI①目標増加人数(観光入込数/人) 2,300,000人 増加人数3,380,912人 達成率147% KPI②目標登録数(仮想市民登録者数/件)1,820件 実績登録数1,917件 達成率105% KPI③目標指数(地方志向者の魅力度/%)33%(増加3%) 実績指数51%(増加21%) 達成率700%		3	-	5	3	5	4	5	5	4.2
5	七飯町お試し移住体験事業	移住・定住・関係人口創出拡大に寄与するため、移住を希望し、又は検討しているカップル又は夫婦等の世帯を対象に、町内で一定の期間滞在する際に必要な費用の一部を宿泊事業者及びレンタカー事業者に対し補助金として支出した。	お試し移住体験事業における利用者数は、補正予算計上時の15世帯を下回る4世帯9人であったが、この4世帯のうち2世帯が2023年中に移住することが決定し、他2世帯についても2024年中に移住する予定である。 利用者数 4世帯9人 利用者住所 大阪府、埼玉県、静岡県、北海道中富良野町		3	-	5	3	5	4	5	5	4.2